

皇學館大学グローバル人材育成ポリシー

※令和2年度改定

皇學館大学で育成するグローバル人材像

育成する 人材像

- 1 日本に対する深い知識と日本人としてのアイデンティティを有する人材
- 2 異なる言語、文化、価値観を理解し、日本の歴史・文化・社会に関する多様な情報を、特に主要な国際共通語の一つである英語、その他現地語を使って発信ができる人材

卒業後の 人材像

- 1 職業人として国内外において、他者との多様な関係を構築するためのコミュニケーション能力と協調性を有する人材
- 2 チャレンジ精神と次世代を見据えた社会・地域貢献意欲を有する人材

皇學館大学の国際化ビジョン

上記の人材を育成するために、次のビジョンにより国際化を進める。

学生の海外留学等の促進

グローバル社会で活躍する人材育成のために、語学力の強化、就業力の育成、そして国際性の涵養を目的として、海外へ毎年70名以上の学生派遣を目標とする。

外国語運用能力の強化

教育課程の内外における外国語教育の充実及び体系化を図るとともに、各種留学・海外研修プログラムおよび英語等にかかる自主学習環境(e-ラーニング、英語学習アドバイザー事業等)を強化する。また、英語については、卒業時に、TOEICスコア600点以上を100名、730点以上または英検準1級以上を30名、もしくはその同等レベルの英語運用能力を修得することを目標とする。

外国人留学生の受入と学内における グローバル環境の充実

我が国と諸外国との架け橋となる人材を育成するために海外協定校等からの外国人留学生を受け入れるとともに、「グローバルラウンジ」を活用し、外国人留学生や教員等との外国語での交流機会・行事を充実する。

外国における就業力の育成

海外インターンシッププログラムの充実を図り、毎年10名以上の学生を派遣することとし、外国における就業力の育成を目標とする。

外国人留学生の日本での就職支援

日本での就職を希望する外国人留学生のために、政府機関や各自治体関係機関、民間団体等と連携して留学生の就職支援活動を行う。

海外大学等との連携

海外の大学・高等教育機関と協働し、双方向の教育連携・共同研究の推進等を通じて、国際的に活躍できる人材を育成するために、海外協定校の拡充および連携強化を図る。

地域のグローバル化への貢献

地方自治体・産業界及びその他諸団体・地域コミュニティ等とのネットワークを強化し、地域の持続可能な維持・発展のための課題をテーマに据えた、地域貢献型の事業に取り組み、国内及び海外に発信する。